



平成二十八年四月七日  
 皇紀2676年  
 (西暦2016年)  
 第121号

発行：淀姫神社社務所  
 〒859-4501  
 松浦市志佐町浦免632  
 TEL・FAX 0956-72-0653

青葉の季節ももうそこまで

## 気温の高い日が続いています

これを書いていいるのは四月六日です。

真夜中に書いていいるので、ホームページの方にアップロードできるのは明日になりそうです。今年より早くも2日早い3月22日にソメイヨシノの開花が発表され、満開を迎えたのは今年より4日早い3月30日でした。開花を迎えてから気温の高い日が続き、一気に咲きこぼれたという感じでした。この号が皆さまのお手元に届く頃には、花も散って青葉がちらほらと鮮やかな色を見せていることでしょう。

今年の気温傾向を見てみると、時折強い寒気が流れ込んで、ここ松浦市でも雪が降るなどしました。全体的には暖かい冬だったようです。気象庁に拠りますと、これから先も気温の高い状況が続く、また雨も多い傾向だと予測されています。このところ、こういう予報が多く出ています。これも地球温暖化の影響なのかなと思ったりもする今日この頃です。



## 志佐地区戦没者慰霊祭

去る四月四日。松浦市生涯学習センター「きらきら21」ホールにおきまして、志佐地区戦没者慰霊祭が齋行されました。この慰霊祭は、志佐地区戦没者慰霊奉賛会が主催して、毎年この日に行なわれています。

この志佐地区からは、日露戦争や満州事変、上海事変、また盧溝橋事件から大東亜戦争に至るまでの戦禍でその命を落とされた方々の数は、160名にのぼります。

その御霊を歴史に埋もれさせないようにと、この祭典は毎年この日に齋行されます。

開式の言葉が述べられたのち、戦没者の御霊(みたま)に哀悼を捧げ、黙祷です。ご参列の皆さま全員起立をし、黙祷いたしました。

続いて、副斎主による「修祓」です。今年副斎主を務めてくださったのは、福島町今山神社宮司の松浦寛二さんでした。

祓い清めののち、靖国に坐す御魂をお呼びする「降神」の儀が執り行われました。

そして、斎主(主たる祭典奉仕者)である淀姫神社宮司が、御霊を和める「祭詞」を奏上



しました。文字通り命を賭して戦い、そして亡くなられた160柱の御魂に向かい、厳かに奏上されます。続いて、祭主(祭典の主催者)である志佐地区戦没者奉賛会のご代表をはじめ、市長ほか各代表により、慰霊詞が唱えられました。各ご代表の慰霊詞が唱えられたのち、献吟が披露され、御霊への吟が捧げられました。

続いて、「玉串拝礼」です。まず祭典奉仕者である宮司が玉串を捧げ、御霊安らかなることを祈念し、拝礼します。

続いて志佐地区戦没者慰霊奉賛会会長が玉串を捧げて祈念いたします。また松浦市長や松浦警察署長。消防本部長をはじめ、来賓の方々も玉串を捧げて祈念されました。

こうして毎年齋行されている慰霊祭も、次第にご遺族の方も少なくなっていく予定です。明治以降に繰り広げられた、無残きわまりない戦禍によって失われた命は数知れませんが、そのようなことを繰り返さないために、わたしたちには今なにができるのか、考える一日でした。



淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。